

◎ 木造公共施設紹介

(別紙様式1)

施設名 佐久市大沢財産区 森林整備拠点・交流体験施設(大沢森の分教場)

構造 木造平屋建

延床面積 190.46 m²

木材使用量 67.99 m³

主な樹種 カラマツ、アカマツ、ヒノキ

施設概要 地元大沢財産区有林からの搬出間伐による木材を、地元の県産材認証工場で製材し、建築材とすることにより、建物全体が地元材を活用し、木造版地産地消のモデルとなっています。

地域で親しまれた分教場の梁7本も研修室の大梁に再利用され、内壁・外壁・天井にカラマツ、土台・柱等にヒノキ、床にはアカマツが利用されています。またウッドデッキの基礎に、旧大沢新田分教場基礎に使われていた佐久石を利用しています。

(写真)



全 景



休憩室



研修室